

令和6年2月26日
 地域行政部
 地域行政課

臨海部広域斎場組合 施設整備基本方針（案）について

1 主旨

臨海斎場の火葬炉増炉を含む施設整備について、令和6年2月7日の令和6年第1回臨海部広域斎場組合議会において、新たに「臨海部広域斎場組合施設整備基本方針(案)」が示されたため報告する。

2 臨海斎場現状

- (1) 沿革 平成16年1月 開場 (火葬炉8基)
 平成23年4月 2基増炉 (火葬炉10基)
- (2) 所在地 大田区東海1-3-1 (東京モノレール 流通センター駅徒歩10分)
- (3) 設備 火葬炉10基、葬儀式場4室、遺体保冷库24庫 等
- (4) 運営 港区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区が共同設置・運営
 ※運営経費等は、各区住民の利用実績に基づき費用按分

(5) 実績

	区内死亡者数	火葬件数	利用率
令和4年度	7,840人	913件	11.65%
令和3年度	7,225人	767件	10.62%
令和2年度	6,818人	605件	8.87%

3 新たな臨海部広域斎場組合施設整備基本方針（案）について

平成30年度に策定した「臨海斎場施設整備基本方針」では、増炉数を6基としていたが、将来の火葬需要やコロナ禍での小規模葬の増加など、事業環境の変化等を踏まえ、改めて精査・見直しを行い、増炉数を10基とする「臨海部広域斎場組合施設整備基本方針（案）」が示された。

(1) 将来火葬需要

	2022年度実績	2060～64年平均	増加予測数
組織区の死亡者数	23,344人/年	34,367人/年	11,023人/年
臨海斎場の火葬需要	9,841人/年	14,444人/年	4,603人/年

(2) 必要火葬炉基数

将来の火葬需要に加え、災害時や感染症発生時等の需要増を考慮し、火葬炉を10基増炉する。

(3) 火葬炉及び式場の増設案

	現 状	新基本方針(案)
火葬炉	10基	10基増(計20基)
式場等	4室	8室増(計12室)

(4) 施設整備に係る概算費用等

設計、工事費、施工管理等 約45億6千万円

財源は、組織区負担金、地方債、施設整備基金を充てる。

尚、都市計画交付金(東京都補助)、財政調整交付金(都区財政調整)の対象となるため、世田谷区の実質的な負担は無い見込み。

(5) 施設整備スケジュール

	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	
増設施設		基本設計		実施設計		建築工事		共用開始		
式場増設	基本設計・実施設計		改修工事	式場4室増(計8室)					式場4室増(計12室)	

※建設工事期間中も施設は通常どおり稼働する。

4 今後の予定

令和6年8月 臨海部広域斎場組合議会 臨海斎場施設整備基本方針の決定